

核兵器廃絶と戦争のない平和な世界をめざして 2024ピースアクションinTOKYO &ピースパレード開催報告



主催：「2024ピースアクション in TOKYO」実行委員会

一般社団法人東友会(東京都原爆被害者協議会)、特定非営利活動法人 東京都地域婦人団体連盟、東京都生活協同組合連合会平和活動連絡会

4月14日(日)東京ウィメンズプラザホールにて開催し、小学生や中学生も含め、97名が会場に集いました。また同時に実施したオンラインでのライブ配信には14名、後日動画視聴には29名の申込がありました。当日は広島市・長崎市両市長からのビデオメッセージの後、広島原爆投下当時8歳だった久保田朋子さんが疎開先で被爆された際の様子、続けて参加団体と6生協による平和の取り組みのリレートーク、最後に平和と核兵器廃絶へのアピール文を朗読し、大きな拍手で採択され閉会となりました。そして天候にも恵まれ、太陽のまぶしい中ピースパレードを実施し、東京から核兵器廃絶と平和な世界への願いを、道行く多くの人々に広くアピールすることができました。



開会挨拶：
パルシステム東京
西村陽子さん

パルシステム東京西村陽子さんから「皆さんとともに、この東京から核兵器廃絶と戦争のない世界に向けてアクションを起こしていきましょう」とピースアクションinTOKYOがスタートしました。



司会：東都生協
神原由紀子さん



広島市長 松井一實氏

広島・長崎市長よりビデオメッセージ

来賓として出席いただいた、広島・長崎両市の東京事務所長のご紹介に続き、広島市長、長崎市長からのビデオメッセージを上映しました。両市長からは「恒久平和実現に向けてともに行動していきましょう」と東京からの行動に期待するメッセージを受け取りました。



長崎市長 鈴木 史郎氏



被爆体験証言：
久保田朋子さん

被爆 79 年 戦争のない世界に向けて活動しましょう

今杉並区の被爆者団体「光友会」で核兵器廃絶に向けて活動している久保田さんから、戦時中の学童疎開、食事の状況、初めて戦争で人の死を目の当たりにしたこと、そして8月6日“ピカッ”と激しい光の後の惨劇と家族との次々の別れについてお話をされました。一番はお母さんと分かれて過ごすことへの寂しい思いを語られました。「未だに放射線の障害で苦しんでいる人がいます。このような惨劇が二度と無いよう、これからも核兵器のない平和な世の中を保つためには、一人ひとりの力が大切です」と強く語っていました。

参加団体によるリレートーク

平和の大切さを伝える取り組みについて各団体・生協から報告がありました。参加者からは「皆さんの平和への取り組みがとても参考になりましたが、改めて次世代継承が課題と感じました」との声が寄せられました。【参加団体】コープみらい/パルシステム東京/東都生協/東京保健生協/全国大学生協連東京ブロック/日本生協連/東京地婦連/東友会

ピースパレード

～つないでつないで 東京から平和を～



東京ウィメンズプラザから約1.8km 平和をアピールしました。

核兵器廃絶に向けた アピール文朗読・採択

世界中の市民と力を合わせて、核兵器廃絶と恒久平和への道を進み、このメッセージを被爆国の首都、東京から発信することを誓うアピールを朗読し、拍手で採択されました。



アピール文朗読：東友会
村田未知子さん